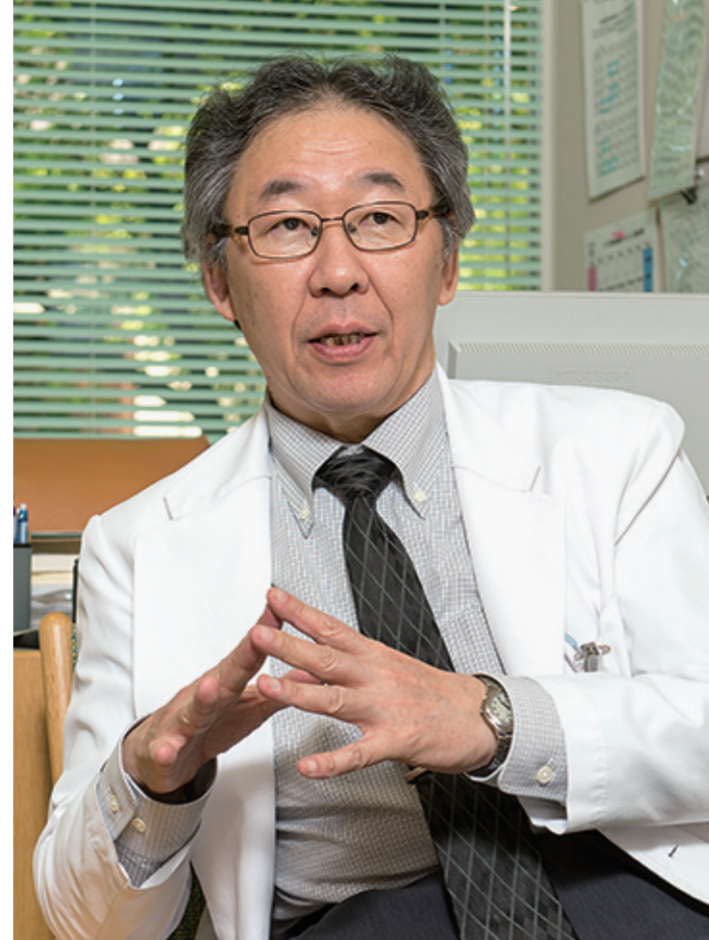
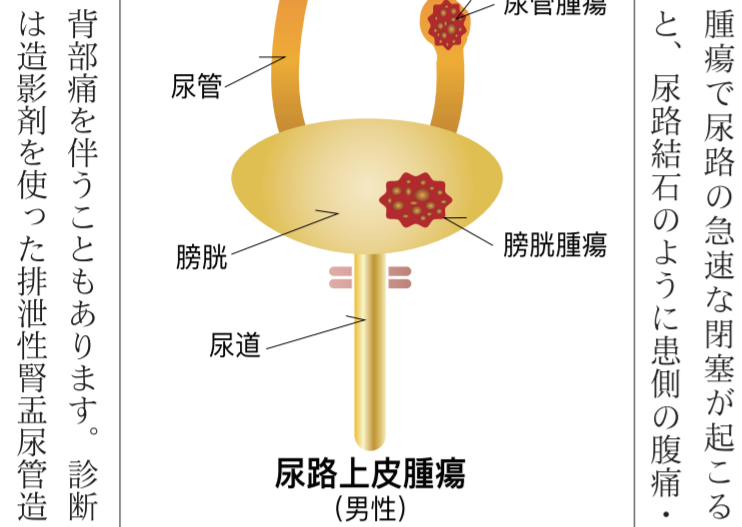


## 尿路上皮腫瘍の症状 および診断について

### 坪院長の健康講座



今回は尿路上皮腫瘍(癌)の症状および診断についてお話しします。図示したように、腎臓の実質で作られた尿の通り道である腎盂・尿管・膀胱および尿道を覆う粘膜を尿路上皮といいますが、尿路上皮腫瘍(癌)の発生頻度は尿道腫瘍はごくまれで、膀胱腫瘍がほぼ95%、尿路上皮腫瘍の順となっています。時に若年層にもみれ



背骨痛を伴うこともあります。診断は造影剤を使った排泄性腎盂尿管造

ますが、好発年齢は50歳以降で、男女比は男性に多く膀胱腫瘍では男性が女性の約4倍となっています。発症の危険因子としては一部の職業性発癌物質を除いて、喫煙が最も重要なものとされています。ほかに慢性の尿路感染症も危険因子の一つです。

腎盂・尿管腫瘍を上部尿路腫瘍といいますが、上部尿路腫瘍(癌)の症状として最も多いのが痛みなどを伴わない無症候性肉眼的血尿です。なお腫瘍で尿路の急速な閉塞が起こると、尿路結石のように患側の腹痛・影・CT・MRIの他、膀胱鏡を使って尿管にカテーテルを挿入して行う逆行性腎盂尿管造影や、時には麻酔下で直接腫瘍を確認する腎盂尿管鏡が有用な事もあります。なお尿中悪性細胞の有無を調べる尿細胞診は補助診断として有用です。

下部尿路腫瘍である膀胱腫瘍(癌)の主な症状は上部尿路腫瘍と同様に無症候性肉眼的血尿ですが、時に頻尿・排尿痛といった膀胱刺激症状を伴うことがあります。診断は膀胱鏡検査でほぼつきませんが、腫瘍の深さ(根の深さ)や転移の有無を調べるにはCT・MRI・シンチグラフィなどが必要です。また上部尿路腫瘍と同様に尿細胞診が有用ですが、膀胱腫瘍の場合には治療を兼ねて腫瘍を経尿道的に内視鏡で切除し、腫瘍の悪性度・深達度を病理組織学的に精査して追加治療の必要性を検討します。

以上尿路上皮腫瘍の症状・診断についてお話ししました。治療については次号でお話する予定です。



あけましておめでとうございます  
本年もよろしくお祈り致します

医療法人 社団 **いぶり腎泌尿器科クリニック**  
泌尿器科・血液透析  
院長 坪 俊輔  
副院長 竹内 豊  
副院長 仲山 明宏

## 新シリーズ 安住管理栄養士の腎臓病・透析食レシピ

このコーナーでは安住管理栄養士による腎臓病、透析食レシピを4回にわたり掲載します。第1回目の今号では「主食」、次号で「主菜」、第3回は「副菜」、第4回は「デザート」を紹介していきます。



エネルギー	396kcal
たんぱく質	9.5g
脂 質	3.1g
カリウム	256mg
食 塩	0.6g

### えびと銀杏の混ぜご飯

#### 【材料(1人分)】

- れんこん……………20g
- むきえび(冷凍)……………15g
- 銀杏(水煮缶)……………10g
- ご 飯……………200g
- 三つ葉……………2g
- 白炒りごま……………0.3g
- 酢……………少々
- 料理酒……………3g
- 塩……………0.1g
- サラダ油……………2g
- 砂 糖……………3g
- 薄口醤油……………3g
- 料理酒……………2g

#### 【作り方】

- ①れんこんは皮をむき、縦に4等分してから厚さ3~4mmに切る。酢を少々加えた水に2~3分さらし、ざるに上げて水気を切る。むきえびに塩、酒少々をまぶして下味をつける。三つ葉は葉と茎に切り分け、茎は1cmの長さに切る。
- ②フライパンを中火で熱し、サラダ油を入れる。油が十分に温まったられんこんを入れて炒める。れんこんが透き通ってきたらえびと銀杏を加えて炒め合わせ、えびの色が変わったら砂糖、薄口醤油、酒を順に入れて全体にからめる。
- ③ボウルに温かいご飯を入れ、炒め合わせた具を汁ごと回し入れてへらで手早く混ぜる。白炒りごまと三つ葉の茎を入れて混ぜ、器に盛り三つ葉と銀杏を飾る。

## column 待合室 No.44

### 売れない音楽CD

●音楽CDが売れないそうです。ピークの1999年に比べ、約50%の減といいますが、かなり深刻なレベルです。ダウンロードコンテンツの普及が原因との見方もありますが、そのダウンロードコンテンツも同様に減少しています。日本経済の衰退が原因という大雑把な見方もありますが、説得力がありません●音楽を聴くことへの価値観の変化が、本質に迫る原因として挙げられるほか、近年急速に注目を集めるようになった動画サイト、YouTubeにアップされた動画で聴き、満足する人が増加している見方もあります●デジタル化された録音技術から音源が劣化することなく、再生される音質も格段に向上したため制作コストが大幅に減少、売価もどんどん値下がり方向へ向かいました。その結果が価値観の変化を生み、CD離れに繋がったという見方があります●また、コミュニケーションツールとしての音楽価値が薄れ、音楽はあくまで個人で楽しむものへと変化し、過去のように爆発的なヒットが生まれる環境が無くなったことも大きく影響しているようです●CDが売れなくなった現状から、ライブに軸足を置き換える動きが出ています。読者の方も、一昔前には考えられなかったアーティストが伊達で公演する現実を、不思議に感じていたことと思いますが、この流れの変化に原因があったようです●そんな中、第二の収入源として脚光を浴びるのがライブでのグッズ販売です。定番のクリアファイル、Tシャツからトートバッグ、皮肉にもCD販売と、会場はコンビニのように買い物籠を持ったファンで溢れます●ミュージシャンがグッズ販売とは、本末転倒の現象が現状の混雑ぶりを物語ります。この混沌とした現状の立ち着き先は、やはりライブ活動になると信じます。それは儲かるからとか、堅実に稼げるからではなく、音楽本来の魅力がライブにあるからです●音楽の真髄は経済的な成功ではなく、演奏するステージ上にあることを再認識し、質が良く劣化しない録音よりも、熱気あるライブのサウンドの方が優れていることを、ミュージシャンが責任を持って伝えて行くことが重要だと思います。音楽産業に限らず、必要以上に儲ければ、本質を見失うものです。

## IBULIVE いぶりぶ 新年号

「いぶりぶ」のバックナンバーは、当クリニックホームページでご覧いただけます。 <http://www.ibujin.com>

### 新人スタッフ紹介 加藤 直美 外来看護師

焦らず確実な仕事に心がけたい!

昨年11月から仲間入りした加藤看護師は、伊達生まれ伊達育ち、地元の高校を卒業してから小樽の専門学校を経て、歯科衛生士として社会人のスタートを切りました。歯磨き指導の経験などから、病気の歯の衛生との関連性に着目、医療への興味を深め東京の看護学校を受験し、看護師の道へ進んだ異色の経歴を持ちます。

東京の大学病院で14年間勤務していましたが「元々伊達に帰ろうと思っていた」ことから昨年思い切って帰郷、縁あって当クリニックに就職しました。

「東京では消化器外科を担当、外来看護の経験もなく、周囲の皆様にご迷惑をかけないよう頑張ります」と、決意をのぞかせます。腎泌尿器科での看護は専門知識も必要ことから「早く仕事を覚えるよう努力しますが、焦らず確実な仕事に心がけたい」と話し、安全・安心な看護への対応も忘れません。

趣味は読書で「ミステリーが好きですが、最近は時代ものも読みます」と笑顔を見せていました。自らを「焦るとしくじるタイプ」と評し、自分のペースを大切にすると同時に、周囲への配慮も欠かさない優しさを感じました。

### 透析室患者様忘年会を開催

毎年恒例となった「透析室患者様忘年会」を、昨年12月17日の日曜日に、伊達市末永町のホテル・ロイヤルを会場に開催しました。

忘年会には35名の患者様とご家族らにスタッフ24人、合わせて59人の参加がありました。ご参加頂いた患者様はじめ、当日ご都合がつかずご参加頂けなかった患者様には日ごろより透析室の運営に深いご理解を賜り、紙面をお借りし、心より感謝申し上げます。



### 機器更新のお知らせ 透析監視装置を更新しました

昨年11月27日より全40床で運用開始!

この度、2017年8月より順次導入を開始しておりました**日機装製 透析監視装置 DCS-100NX**が同年11月27日より全40床での運用が始まりました。

導入当初はスタッフも新しい機器への変更不安を感じておりましたが、日々の業務を過ごす中で技術習得に励む、各スタッフの努力はもちろんですが、患者様のご協力もあり、ようやくいつもの透析室を感じるようになりました。

新しい装置では従来の装置では出来なかった治療や機能を利用することで、患者様のQOL(生活の質)向上へさらなる貢献が出来るようになりました。

今回は**ibu live**の紙面をお借りして、装置の新しい機能についてご紹介させて頂きたいと思っております。

透析治療は血液の中から老廃物や余分な水分を取り出す治療で、いかに患者様から血液を必要量取り出せるかが、効果的な治療のポイントになります。それを確認する方法として、良く活用されていたのが血液回路のピローという部分でした。この部分の膨らみの状態を指で触り、潰れ気味なら取出しが不良な状態、膨らんでいる状態なら取出しは良好と判断していましたが、この部分では血液の流れが滞ってしまう部分があり、そこで血液が凝固してしまう事がありました。新しい装置では、そのピローの部分を廃止し、血液を取り出す部分のポンプ回路の膨らみをセンサーにより数値化して、経時的なモニタリングが可能になっています。これにより、スタッフそれぞれの感覚的な判断から、より統一された基準での判断が可能になり、患者様の治療効率の低下を防ぐ事が出来るようになりました。

新しい装置では、ディスプレイの大型化による視認性の向上、昇圧式の血圧計の採用により、透析中の時間毎の血圧測定の際を締め付けられる時間が短縮されたほか、静音性の向上など環境面での配慮や、透析液をダイアライザーへ供給する接続部分に一体化構造の物やオンライン補充液の取り出し口にヒーター内蔵カバーを採用、清潔面でも改善が図られています。また、緊急事態の災害時でもバッテリー駆動により、平常時と変わらぬ状態での操作が可能になり、安全面でも強化された印象を持っています。

これら多様な機能により、新しく歩き始めた透析室ですが、機能に頼り切ることなく、今までと変わらず患者様に寄り添った治療を提供させて頂くという事を忘れずに、スタッフ達と責任を果たしていきたいと思っております。



臨床工学技士長 重山 龍二

### 透析室看護師長 辻 和子

プロ顔負けの歌唱力で、自慢の歌をじっくりと聞かせてくれたり、時には会場が笑いに包まれたり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。日曜日の2時間あまりでしたが、大変楽しく、また貴重なひとときとなりました。ご参加頂いた皆さまありがとうございます。また、お料理や会の進行など細やかなご配慮を頂いた、会場のロイヤル様に感謝いたします。透析室が患者様にとってさらに利用しやすくなるよう、スタッフ一同努力する所存です。

